

がん情報サロンボード

2020/05/07

がん情報サロン 富田 明人

新型コロナウイルス

さわやかな 5 月を迎えるはずでしたが、大変なこととなりましたね。この地球をコントロールしていたとの思いは・・・年頭に中国の一地方の武漢に新しい流行病が発生したとのマスコミの報道を対岸の火事で大変なことだと思っていましたのに、あっという間に世界に広がり世界は新型コロナウイルスに制覇されてしまいました。このような緊急時には政府の役割が重要です。政府は緊急事態宣言を発し 5 月 6 日までとしましたが残念ながら今月末まで延長することとなりました。

これを受けて自粛解除の具体的基準が必要だと大阪府の吉村知事は自粛解除「大阪モデルを」発表しました。大阪府が示した指標は、①感染経路が不明な新規感染者が 10 人未満（過去 1 週間の平均）、②検査を受けた人の占める陽性者の割合が 3%未満。③重症病床の使用率 6 割未満 以上の全ての基準を 1 週間連続して下回れば、休業と外出自粛の要請を段階的に解除する方針を示しました。

国難である新型コロナウイルス対策には、政府、国会、医療関係者、地方の知事等の協力と意思統一必要であります。残念ながら首相の発言を聞いても「専門家」の意見を連発し明快な自分の発信が無いのは残念であります。

国会の役割も大変重要であります。与党も野党も発言の少ないのは？総力を挙げて知恵を絞ってもらいたいです。

全国 47 都道府県、岩手県を除き感染者が発生しました。島根県も松江と出雲地区で 24 名の感染者が発生しました。うち 7 名の方が回復し退院しています（5/6 日現在）

医療資源が足りないと言われていますが、日本感染症学会専門医は全国で 1,564 名 山陰では、鳥取 5 名、島根 6 名で少ないと思われるので充実が求められます。

島根県の PCR 検査は検査総数 869 人、陰性者 845 人、陽性者 24 人、陽性率 2.7%です。（5/5 日現在）

自粛解除の道は険しい道と思われませんが、中国 5 県とも連携を取り 1 日でも早い解除を望みたいです。（富田）